

# 日本最高峰へ登ろう！ 富士山登頂(富士宮ルート)

受講  
レベル

- 登山経験なし、または過去に登山 1,2 回程度の方向け
  - 日頃よりご自宅近郊の山々へ日帰り登山以上を楽しまれている方向け
  - 登山におけるご自身の体力、ご案内する登山装備の使い方にご理解がある方向け
- ※体力度：1日 4~5 時間くらいは歩きましょう。標高差 500m 以上。  
※装備(持ち物)については裏面記載の服装・道具を揃えてのご参加が必須です。

一生に一度は登りたい日本最高峰富士山。おとな女子登山部ツアーの中でも毎年大人気です♪  
週末の土日の1泊2日で、吉田ルートなど他の登山道に比べ登山者の混雑も少なめなで、また富士山山頂の中でも最高地点である剣ヶ峰(3776m)までダイレクトに到達できる富士宮登山道で、日本のてっぺんを目指しましょう！

## 開催日：7月20日(土)・21日(日)

集合：20日 12時30分 富士宮口五合目

☆JR 新富士駅 9:55→富士宮口五合目 12:00 着・運賃 2,380 円の路線バスがあり。

解散：21日 12時00分頃 富士宮口五合目

☆富士宮口五合目 12:30 発・13:30 発にて新富士駅方面に路線バスがあり。

富士宮口五合目アクセスなど詳細は [こちら](#) をクリック

募集人数：15名様 (最少催行人員 10名様)

受講料：おとな女子登山部員価格/29,000 円  
(一般価格/30,000 円)



イメージ1

※受講料に含まれるもの：ガイド同行費、保険料、山小屋宿泊費(池田館:1泊2食)

※富士山保全協力金 1,000 円は各自現地にて、お支払い下さい。

※天候・その他の現地事情によりコースが変更になる場合があります。

### 行程

1日目：富士宮口五合目(2,380m)・・・雲海荘・・・七合目・・・八合目 池田館(3,220m)

2日目：明け方出発 (ご来光は小屋の前もしくは途中の小屋で見ると予定です)・・・頂上(剣ヶ峰・3,776m)・

・・・富士宮ルート・・・富士宮口五合目

( )内数字：標高， ……：徒歩， —：車両移動 [ 歩行時間：1日目約3時間半、2日目約6時間半

- 国内旅行傷害保険について：「好日山荘登山学校」の美技講座では安心のためアトラストレックが契約者となり予めご旅行代金(受講料)に保険料を内包しており、下記補償内容を付保しておりますのでご確認ください。
  - 死亡・後遺障害保険金額 300万円 ●入院保険金日額 4,500円 ●手術保険金 入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)の額をお支払いします。 ●通院保険金日額 3,000円 ●救護者費用等保険金額 100万円 ●賠償責任保険金額[※免責金額(自己負担額):0円] 1,000万円
  - 携行品損害保険金額[※免責金額(自己負担額)]:3,000円] 5万円 (保険料1泊2日まで4,266円・3泊4日まで5,066円・6泊7日まで5,899円)
- ※この保険は、株式会社アトラストレックを保険契約者として同社が主催する募集型企画旅行に参加の参加者全員を被保険者とする包括契約です。  
原則として、契約者が契約内容変更に関する請求権、解約請求権等を有します。

◆ 装備表 (○:必要な装備、△:あると便利な装備・お持ちの方はご持参ください) ◆

用 具	登山靴	○	足首まで保護できるトレッキングブーツ	そ の 他	ヘッドランプ	○	早朝、日暮れや夜間の行動に備えて
	バックパック	○	25ℓ～30ℓ程度の物		替え電池	○	ヘッドランプ用
	レインカバー	○	バックパックのサイズに合わせた物		地図	○	1/25000 地形図 ※お送りします。
	トレッキングポール	△	膝の負担を和らげます。プロテクター(先端保護も		コンパス	○	プレートコンパス
服 装	アンダーウェア	○	化繊やウールなど吸汗速乾性のインナー・肌着・タイツ		保険証	○	万が一に備えて。コピーでも可
	シャツ・ズボン	○	化繊やウールなど吸汗速乾性のシャツやズボン		救急用具	○	絆創膏や持薬など。ファーストエイドキット
	防寒着	○	フリースジャケット、ダウンジャケット等保温性のある物		防水バック	○	衣服などを濡らさないように
	グローブ	○	防寒性のある薄手のグローブ		ビニール袋	○	ゴミ袋に
	帽子	○	日除けや頭の保護に		日焼け止め	○	お肌の保護に。リップクリームも
	レインウェア	○	防水性・透湿性のある、上下セパレートタイプ		タオル	○	汗拭きに
	ネックゲイター	○	保温、日焼け対策、砂埃対策と万能です。		虫よけスプレー	○	ハッカ油など
	サングラス	○	紫外線など目の保護に		ポケットティッシュ	○	
	ゲイター	○	砂の靴へ侵入を防ぎます		携帯用酸素	△	
	靴下	○	ウールなど保温性とクッション性の高いもの		折り畳み傘	△	
食 べ る	水筒	○	1ℓ以上。ハイドレーションがおすすめ				
	サーモボトル	△	保温水筒。温かい飲み物を入れて				
	行動食	○	アメなど歩きながらも食べられるもの				
	昼食	○	オニギリやパンなど調理しなくてもよいもの				

上記アンダーウェア(インナー・タイツ等)とシャツ・ズボンの組み合わせ等はお自身のスタイルに合わせ工夫ください。

☆上記装備表のご購入・お問い合わせはお近くの好日山荘または WebShop まで☆